

SHIZUOKA ICHIKO

School Guide 2025

静岡市立高等学校 令和7年度 学校案内



静岡市立高等学校

<教育目標>

「質実剛健」の気風を継承し、校訓「正しく、強く、明るく」を基に、「文武両道」を目指し、地域社会や国際社会に貢献できる、調和のとれた創造的な人間を育成する。



個々の能力を最大限に伸ばし、仲間と共に成長できる学校

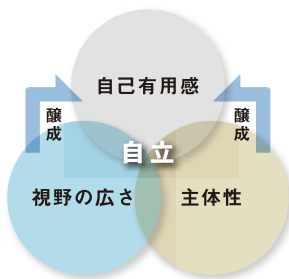
アドミッションポリシー ～このような生徒を待っています～

普通科 何事にも粘り強く取り組もうとする生徒

科学探究科 理科や数学に関心をもって自ら進んで学ぼうとする生徒

市高で育む 3つの資質・能力

生徒一人ひとりの自立に向かって、未来起点の思考と日常の凡事の徹底により、高校生活(学習、部活動、学校行事等)を通して、3つの資質・能力(自己有用感、視野の広さ、主体性)を育んでいます。



確かな学力



高校生活を彩る学校行事



特色あふれる探究活動



部活動の活躍

ISEPの研究開発への取り組み

「市高科学教育プログラム(Ichiko Science Education Program 通称ISEP)の開発」～科学的リテラシーをもって解決困難な課題に立ち向かうことができる人材の育成～を目標に掲げて研究開発を進めています。第Ⅰ期(平成25～29年度)は科学探究科を対象に、第Ⅱ期(平成30～令和4年度)からは対象を普通科にも広げ、学校全体でSSH*に取り組みました。更に第Ⅲ期(令和6～令和10年度)SSH指定校になりました。

ISEPについての詳細は別紙、「静岡市立高校 SSH通信 Serendipity」をご覧ください



文部科学省指定事業
SSH
Super Science Highschool

※スーパーサイエンスハイスクール(SSH)とは高等学校等において、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育むための取組を推進します。また創造性、獨創性を高める指導方法、教材の開発等の取組を実施します。

進路指導

高校生活は自分の夢や目標を探し、その実現に必要な人間力を身に付けるための時間。市高にはそのための環境が整っています。

課外授業



朝課外

特進クラスは全員に、一般クラスと科学探究科も希望者に対して実施しています。

放課後課外

3年生対象に行っています。生徒の進路目標やニーズに対応し、基礎からアドバンスト(ハイレベル)まで、多様な課外を実施しています。

勉強合宿・通学学習会

2年生は勉強合宿、1年生は通学学習会を、夏休みに行っています。対象は特進クラス全員と一般クラス・科学探究科の希望者です。どちらも一日10時間の学習に挑みます。

進路探究



出張授業

全国の国公立大学を中心に、様々な分野の先生方が、高校生向けにアレンジした模擬授業を行います。年間8~10回実施しています。

学部学科説明会

秋に1・2年生全員を対象に実施しています。全部で20の学問分野の先生方を一斉に招いて行います。生徒は事前に希望した2つの講座に参加します。

進路講演会

生徒の進路意識を高めるため、最新の入試動向の紹介や、進路実現に向けてのポイントを聴くことができます。

個に応じた細かい指導



面接・小論文等指導

近年の大学入試で課されることが多くなった面接や小論文に対応するため、希望生徒に対して担当の教員が一人ずつついて指導します。毎年100名以上の生徒が利用しています。

自習室

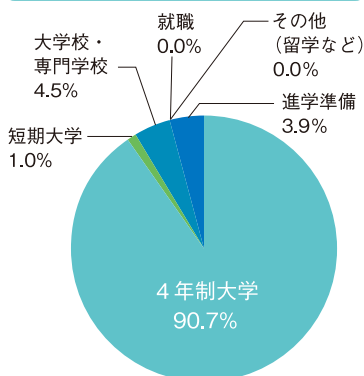
校内に用意した複数の自習室を使い、夜7時まで自習を行うことができます。3年生を中心に多くの生徒が利用し、個々のペースで学習に励んでいます。質問があれば教員に聞きに行くことも可能です。

進路面談

進路に関する面談を定期的に行います。夏休みには三者面談も実施し、生徒・保護者・学校間で情報を共有し、方向性を定めていきます。

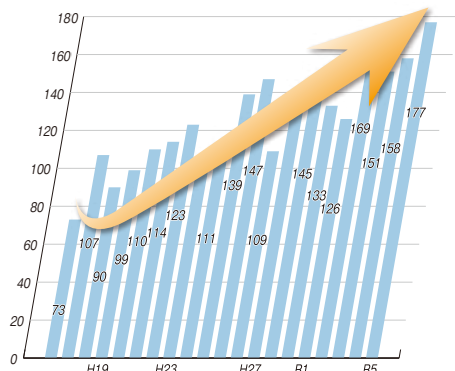
進路実績 [令和5年度]

進学先概況 (卒業生 311名)



4年制大学への進学率 **90.7%**

国公立大学合格者数の推移



国公立大学
延べ合格者数 **177名**

主な合格大学

国公立大学

東北大、名古屋大、筑波大、横浜国立大、金沢大、岡山大、広島大、東京学芸大、電気通信大、東京都立大、横浜市立大、名古屋工大、名古屋市立大、静岡大、静岡県立大、静岡文化芸術大

など、多数合格

私立大学

東京理科大、学習院大、明治大、青山学院大、立教大、中央大、法政大、同志社大、立命館大、関西大、関西学院大

など、多数合格

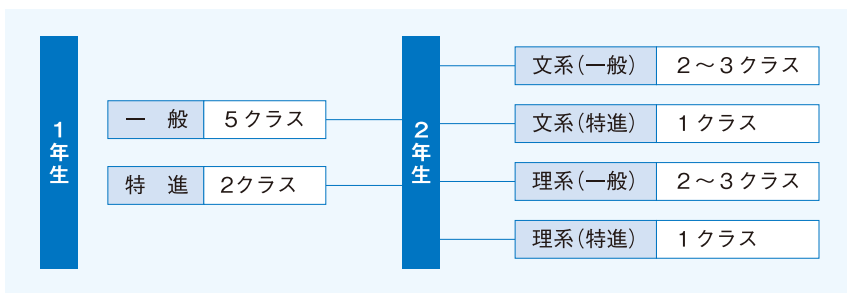
普通科



地域・国際社会に貢献し、調和のとれた創造的な人間を育成

個性や適性を伸ばす 教育体制

担任による手厚い面談や家庭学習時間の把握、文武両道の実現を支える部活動顧問、探究活動を支えるゼミ担当教員など、多くの教員が多角的な視点から生徒の個性や適性を見つけ伸ばします。



Point 01

文理選択式のコース制

1年次は全員が共通の科目を履修します。2年次から、それぞれの進路希望や得意教科に応じて、文系・理系コースに分かれます。個々の進路希望を叶えるうえでも大切な選択になります。

Point 02

より高い目標を持った 生徒の集まる特進クラス

クラス全員が国公立大学進学を目指します。手厚い課外(朝課外、放課後課外、勉強合宿・通学学習会)を通して、学力を向上させます。1年次の特進クラスは入学時の希望に応じて編成しますが、2年次からは、進路希望に応じて、クラス編成が行われます。

Point 03

私の「知りたい」を探究

興味・関心がある対象の、表層ではなく深層へ。探究で自分の興味・関心に深く潜っていくことは自分の中に深く潜っていくこと。探究活動を通して本当の自分を発見します。

教育課程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年生	現代の国語	言語文化	歴史総合	地理総合	数学 I II A				物理基礎	化学基礎	芸術 I	英語 コミュニケーション I			論理・表現 I	体育	保健	情報 I	SS探究 I														
2年生	文系	論理国語	古典探究	文学国語	日本史探究 世界史探究		公共	数学 II B			生物基礎	英語 コミュニケーション II		論理・表現 II	体育	保健	家庭基礎	SS探究 II															
	理系	論理国語	古典探究	地理探究	公共	数学 II B III C			化学	生物基礎	物理 生物	英語 コミュニケーション II		論理・表現 II	体育	保健	家庭基礎	SS探究 II															
3年生	文系	論理国語	古典研究	文学国語	日本史探究 世界史探究		政治経済	数学 I A II B 演習 公共演習		数学C 表現コミュニケーションII演習	生基演習 生涯スポーツ	化基演習	英語 コミュニケーション III		論理・表現 I II 演習	体育	SS探究 III																
	理系	論理国語	古典探究	地理探究	数学 III C	数学 I A II B III C 演習			化学		物理 生物	英語 コミュニケーション III		論理・表現 I II 演習	体育	SS探究 III																	

Student's voice



3年生・小林 桃花 さん
(長田南中)

私は陸上競技部に所属しています。1年生の頃は部活動と学習の両立に苦労しました。そのため限られた時間の中で何をすれば良いか考え、見通しを持って学習に取り組みました。目まぐるしい日々でも何事にも全力で頑張れたことが、大会のときに自信を持ってスタートラインに立てたことに繋がったと思います。仲間や先生方に恵まれ、陸上競技に夢になっていた日々は充実していました。この日々がこれからの私の背中を押してくれると思います。

Student's voice



3年生・吉川 凜 さん
(蒲原中)

2年生で行った探究が私の中のワクワクを掻き立て、「もっと知りたい!」という気持ちから探究IIIを選択しました。探究を通じて多くの方々に出会ったことは、様々な知識を得たり、視野を広げ、新しい夢を見つける貴重な経験になりました。受験勉強で忙しい日々の中で、自分の好きなコトについてとことん没頭して探究する時間は何事にも変えがたい貴重な時間です。今後も好きなコトに真摯に向き合う時間を大切にしていきたいです。

科学探究科



科学的・数学的に探究・表現する能力と態度を育成

育てたい3つの力

主体的に生きる力

自ら考え、判断し、
行動する力

科学を探究する力

自ら課題を設定し、
科学的手法を用いて解決する力

コミュニケーション能力

論理的に思考・判断・表現する力、
英語力

Point 01

英語、数学、理科では 少人数授業を実施

1クラスを2集団に分け、生徒1人ひとりにあった手厚い授業を展開します。生徒と生徒、生徒と教員、意見の交わり合いを重んじながら、探究活動の基本となる教科理解を深めています。

Point 02

知識や技能を活用する 場面を多く設定

新学習指導要領は、「知識や技能の習得」だけでなく、その「活用」を重視しています。科学探究科の各プログラムは、授業で習得した知識や技能を活用する絶好の機会です。物事を掘り下げ、多角的に考察する姿勢が自然と身に付いていきます。

Point 03

「課題研究」と「海外科学研修」を 軸にプログラムを展開

すべての取組の中心に「課題研究」と「海外科学研修」を据えて各プログラムを実施します。各プログラムは相互に関連付けられており、実験や研修を振り返り、その意義について考える良い機会になります。

教育課程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年生	現代の国語	言語文化	歴史総合	公共	理数数学ⅠⅡ				理数化学	理数物理	芸術Ⅰ	SECⅠ	英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	体育	保健	情報Ⅰ	CDⅠ		探究プログラムⅠ														
2年生	論理国語	古典探究	地理総合	理数数学Ⅱ 理数数学特論				理数化学	理数物理	理数生物	SECⅡ	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	体育	保健	家庭基礎	CDⅡ		探究プログラムⅡ															
3年生	論理国語	古典探究	地理探究	理数数学Ⅱ 理数数学ⅠⅡ特論演習				理数化学演習	理数物理演習 理数生物演習		SECⅢ	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現ⅡⅡ演習	体育	探究プログラムⅢ																			

科探究だから
経験できる
特徴的な授業



探究プログラムⅠ・Ⅱ・Ⅲ

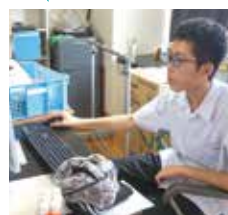


Career Design プログラムⅠ・Ⅱ



Science English CommunicationⅠ・Ⅱ・Ⅲ

Student's voice



3年生・小川優津希さん
(安倍川中)

私は研究職に興味を持っていたので、科学探究科に入学しました。そして、自分たちで自由にテーマを決定し研究できる「探究プログラムⅡ」で紙飛行機を安定して飛ばす方法についての研究を行いました。何度も挫折を経験しましたが、諦めずに取り組む粘り強さや、視点を変えて物事を考える大切さを身に付けることができました。また、研究について発表する機会がたくさんあり、コミュニケーション能力も向上しました。そのおかげで、バドミントン部の練習にも積極的に取り組むことができ、とても楽しい学校生活を送ることができました。科学探究科で身に付けたこれらの力は将来、自分が研究していく場面や様々な選択をしていく場面で必ず助けになってくれると確信しています。

部活動

市高生は「文武両道」。生徒全員が部活動に所属しています。
活動を通して特技を磨き、責任感と忍耐力を身に付け、仲間たちとの深い友情を育みます。

運動部

- ▶ 陸上競技部
- ▶ 野球部
- ▶ 水泳部
- ▶ 卓球部
- ▶ 体操競技部
- ▶ 剣道部
- ▶ 弓道部
- ▶ サッカー部
- ▶ テニス部 (男・女)
- ▶ ソフトテニス部 (男・女)
- ▶ バレーボール部 (男・女)
- ▶ バスケットボール部 (男・女)
- ▶ バドミントン部

文化部

- ▶ 新聞部
- ▶ 吹奏楽部
- ▶ 放送部
- ▶ 応援部
- ▶ 写真部
- ▶ マンドリン部
- ▶ 美術部
- ▶ 演劇部
- ▶ 茶道部
- ▶ 料理研究部
- ▶ デジタル研究部
- ▶ 科学部
- ▶ 書道部
- ▶ 囲碁将棋同好会

部活動実績

令和5年度

全国大会

テニス(男)	インターハイ団体出場、個人シングルス出場、ダブルスベスト16 国民体育大会少年部の部出場
テニス(女)	インターハイ個人ダブルス出場 全日本ジュニアU18シングルス出場、ダブルスベスト8 全国選抜大会団体出場、個人シングルスベスト16
陸上競技	インターハイ男子200m、女子100m出場 国民体育大会少年女子A 100m 8位、女子4×100mリレー静岡県代表 U20日本選手権女子100m 2位 U18陸上競技大会女子150m出場 リレーフェスティバルU16 4×100mリレー静岡県代表
体操競技	インターハイ女子団体出場
水泳	インターハイ男子50m自由形出場、男子100m自由形出場、女子200mバタフライ出場 ジュニアオリンピックカップ夏季大会男子100m自由形出場、男子50m自由形出場 ジャパンオープン男子50m自由形出場 国際大会代表選手選考会男子50m自由形出場 ジュニアオリンピックカップ春季大会男子100m自由形出場、男子50m自由形出場、女子200mバタフライ出場
吹奏楽	ジュニア打楽器アンサンブルコンクール全国大会優秀賞
マンドリン	全国高等学校ギターマンドリン音楽コンクール優良賞
剣道	
女子ソフトテニス	
卓球	

東海大会

テニス(男)	東海インターハイ団体準優勝、個人シングルス出場、個人ダブルス出場
テニス(女)	東海インターハイ団体出場、個人シングルス3位 東海選抜3位
陸上競技	東海インターハイ男子200m 5位、男子800m出場、男子4×100mリレー出場、女子100m 2位、女子4×100mリレー出場、女子4×400mリレー出場 新人戦女子100m出場、女子200m 7位、女子800m 3位、女子4×100mリレー出場、女子4×400mリレー7位 東海選手権女子100m 8位、女子4×100mリレー出場、女子4×400mリレー出場
体操競技	東海インターハイ女子団体4位
水泳	東海インターハイ男子50m自由形優勝、男子100m自由形9位、男子200m自由形出場、男子400m自由形出場、男子400mメドレーリレー出場、男子400mフリーリレー出場、男子800mフリーリレー出場、女子100mバタフライ9位、女子200mバタフライ6位、女子800mフリーリレー出場 東海選手権女子200mバタフライ出場
吹奏楽	
マンドリン	東海選抜高等学校ギターマンドリンフェスティバル優良賞
剣道	東海高等学校選抜剣道大会男子団体出場
女子ソフトテニス	東海インターハイ個人出場
卓球	第63回東海卓球選手権大会出場

過去3年間

県大会出場

- ソフトテニス(男女)
- 体操競技
- 剣道
- バレーボール(男女)
- バスケットボール(男女)
- サッカー
- 卓球
- 陸上競技
- 弓道
- 水泳
- テニス(男女)
- バドミントン
- 野球
- 放送
- 吹奏楽
- マンドリン
- 演劇



年間行事

<p>4 Apr.</p> <p>・入学式 ・対面式</p>	<p>5 May</p> <p>・遠足 齊藤匠(安倍川中)</p>	<p>6 Jun.</p> <p>・市高祭(文化祭) 井出くるみ(清水第一中)</p>	<p>7 Jul.</p> <p>・スポーツ大会 ・野球応援 岩崎琳南(服織中)</p>	<p>8 Aug.</p> <p>・海外語学研修 ・勉強合宿 ・通学学習会</p>	<p>9 Sep.</p> <p>・生徒会長選挙 杉山奥太郎(静岡付属静岡中)</p>	<p>10 Oct.</p> <p>町優花(東中) ・体育大会</p>	<p>11 Nov.</p> <p>・開校記念 芸術鑑賞会</p>	<p>12 Dec.</p> <p>・修学旅行 ・海外科学研修 長島光星(末広中)</p>	<p>1 Jan.</p> <p>・マラソン大会 ・百人一首大会 廣谷知花(東豊田中)</p>	<p>2 Feb.</p> <p>・SSH 研究成果 発表会</p>	<p>3 Mar.</p> <p>・生徒リーダー研修 報告会 ・卒業式 佐尾俊介(東豊田中) 金澤怜蘭(東中)</p>
------------------------------------	---------------------------------------	---	--	---	---	---	---------------------------------------	---	---	--	---

卒業生が語る市高

Talk about Ichiko

はばたいていった先輩たちに市高で学んだ経験を振り返ってもらいました。



平成25年度 卒業生 (科学探究科1期生)

小泉 彩生さん
静岡市立小学校教諭

市高生活は私の財産

私は科学探究科の1期生として市高に入学しました。フィールドワーク、大学訪問、海外研修、プレゼンなど、実際に見る聞く体験する事が盛りだくさんで、貴重な経験を積むことができました。小学校教員になった今、科学探究科での経験が子ども達への伝え方の基盤になったり、教材研究のヒントになったりするなど、多くの場面で役立っています。将来のことで悩む時期だとは思いますが、積み上げた経験は必ずいつか人生の糧になります。

またソフトテニス部に所属していたため、放課

後や休日は部活動で忙しくも充実した日々でした。仲間と共に熱くなり、目標に向かって一生懸命にやり続けたことは自分の心を強くしてくれました。

今の私をつくってくれたのは、市高での多くの人との出会いです。人と関わることでできる小学校教員を目指すことになったきっかけは、人と関わるのが楽しいと思えた市高生活です。大好きな市高での3年間はぎゅっと濃くて、私の大切な財産となっています。



平成28年度 卒業生 (科学探究科4期生)

海野 真輝さん
三菱電機株式会社 設計システム技術センター
機械設計エンジニア

伝える力

科学探究科での諸活動の中で私が身に付けたものは、単に科学的な知識だけではなく、探究力、英語力、プレゼンなどの実践的な力です。特に現在の私の礎となっている「伝える力(プレゼン能力+英語力)」は、間違いなく科学探究科で培われました。

科学探究科で行う課題研究では、ポスターやスライドを用いた発表を数多く行います。回数を重ねて行く中で、与えられた時間内で内容を簡潔に伝えるためには情報量を削ぎ落とすことが重要であると気づき、徐々に自信を持ってプレゼンできるよ

うになって行ったことを覚えています。進学した千葉大学、大阪大学大学院では星・惑星形成の研究に携わりましたが、研究の過程や学会発表等で多くの研究者と議論を交わし、研究内容を深め合うことができたのは、私に「伝える力」があったからだと思っています。

「伝える力」こそは、研究に限らず、どんな場面でも必要不可欠です。科学探究科での様々な経験は、幅広い領域で活躍できる人としての礎になると確信しています。



平成21年度 卒業生

會田 智子さん
胚培養士

市高がくれた経験と出会い

市高では朝課外や勉強合宿など勉強面で手厚いサポートを受けました。一方で、仲間と絆を深められる行事も多く、ナイトワークや海外研修、文化祭は今でも思い出深くに残っています。おかげで楽しむ時はとことん楽しむ、勉強する時は集中するというメリハリのある充実した高校生活を送ることができ、共に過ごした仲間はかけがえのない存在です。

在校中は仲間と将来について相談し合い、他分野に広がる夢に刺激を受け、高校生の自分たちには多くの可能性があるのだと実感したことを覚えています。

私は大学で臨床検査技師を目指すことを決めましたが資格を取得した後、未来の生命につながる分野である生殖医療に興味をもち胚培養士を志すようになりました。検査技師になった後もやりたいこと、なりたいた自分を模索できたのは多方面で活躍する友人からの刺激があったからだと思っています。

今でも高校の友人とは近況を報告し合い刺激を与え合える関係となっており、貴重な出会いと経験をくれた市高に心から感謝しています。



静岡市立高等学校



〒420-0803 静岡市葵区千代田三丁目1-1

TEL:054-245-0417 FAX:054-248-1190

URL: <https://shizuokacity-h.edumap.jp/> E-mail: ichiko@shizuokacity-h.ed.jp

学校までのアクセス方法

自転車 東静岡駅から約15分 ※9割以上の生徒が自転車通学です。

バス 静岡・新静岡駅より約10分 唐瀬車庫行(三松経由) → 市立高校前下車

